

ボーカルシンセ Synthesizer V Studio Basic の概要

Web 版 Synthesizer V <https://synthesizerv.com/web/ja/>



製品の機能限定無料配布版を入手して下さい。1

入手先 <https://www.ah-soft.com/trial/synth-v.html>

プログラム本体と歌声ファイルは別々のファイルとして配布されていて各々についてインストールが必要です。トラックは3つに限定されていますが、入力データの保存、WAV ファイルへの出力が可能なので一通りの機能が使えます。他の歌声ファイルは、上記のダウンロードアドレスの画面下にあります。

歌声ファイルとして、拡張子が .svpk のファイルが得られます。(現在 15 声、必要な声だけインストールすれば良い)

歌声ファイルは、起動後の画面上にドロップしてインストールします。(全部で 15 回)

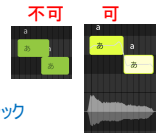
Synthesizer V Studio Basic を起動すると英語版になっています。

日本語化するには、画面右端の環境設定のギア を開き[Settings]の[Interface Language]を[English]から[日本語]に変更して下さい。

音符の末端と次の音符の先頭位置は、上下方向で一致させて下さい。離れていると声が途切れ、重なっていると音が出ません。

同時発音数は1です。音符を重ねて和音を鳴らすことはできません。

トラックは、声3、声2+WAV など3トラックまで作成できます。MP3 は再生タイミングがずれるので WAV が適当です。



トラック

歌声が設定されていないので、下半分をクリックして歌声を設定します。音量のゲイン、左右のパンのダイヤル ミュート M、ソロ S ボタンがあります。



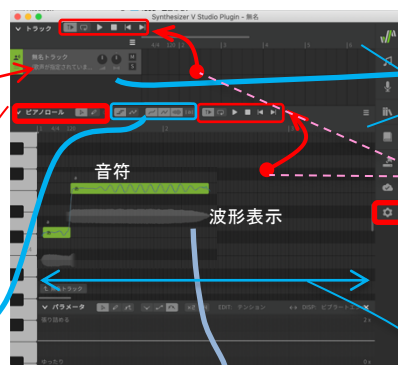
ダブルクリックで四分音符入力
ドラッグで入力。
音符の左右端をドラッグして長さの変更可



灰色線でピブラートなどのピッチを表示
音符内で音程をマウ・青色線で実際のピッチを表示
スで描いて変化させこ
とができます。

制御点が多数生じるので、
[修正]→[パラメータの簡素化]
option+S すると良い

音符上で右クリックでクリックした位置で[ノートを分割]できます。



右クリックで新規トラック、または、新規オーディオトラック

メモリ上を右クリック

付近をクリックすると再生ボタンが現れます
音符のピッチやピブラート設定

歌声の初期設定

(ライブラリ)

(辞書)

WAV ファイルに出力

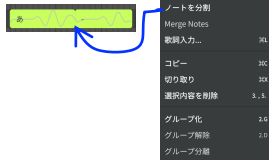
(ライセンス、アップデート)

日本語化、発音の初期設定等

ノートデフォルト歌詞 “あ”と発音させる場合

control(command)ホイールで左右
(時間)方向の表示の拡大/縮小

shift+ホイールで左右スクロール



画面上のトラック表示のクオンタイズ設定

[表示]→[トラック]→[クオンタイズ] →[16分音符] 等

音符の入力時の単位長さの制限。音符の長さを入力位置に制限されて綺麗に入力できます。

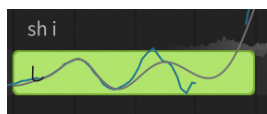
[表示]→[ピアノロール]→[クオンタイズ] →[32 音符] 等

音符ごとの設定 (複数の音符を選択してからも可) ダブルクリックで数値入力可

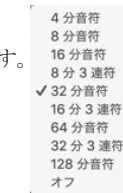
前後の音符とのつながり



ピブラートのタイミングや深さ等

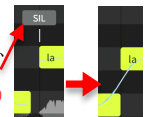


スライダーを操作して、灰色線と青線
の変化を観察して下さい。
(声が AI の場合には青線は表示され
ません)



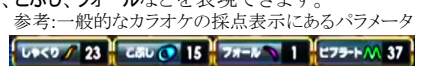
MIDI データを読み込んで、歌詞を後から入力することができます。
[ファイル]→[読み込み]または、画面上にファイルをドロップして下さい。

音符の間に隙間が開いていて SIL と表示されている場合には、SIL をクリックすると SIL は消え、自動的に音符の隙間がなくなります。

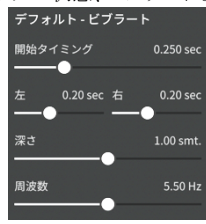


参照 [https://synthesizer-v.fandom.com/ja/wiki/ピッチ操作\(ノート編\)](https://synthesizer-v.fandom.com/ja/wiki/ピッチ操作(ノート編))


歌声設定 トラックの全音符について一括して声の強さ、質、ピッチの状態、ピブラートなどについて詳細な表情の設定ができます。しゃり、こぶし、フォールなどを表現できます。



- 主なショートカット
- command+U, D 1オクターブ上/下
 - command+T 数値を与えて上下
 - option+G, D グループ化/解除
 - command+L 歌詞入力
 - option+1 選択ツール
 - option+2 エディットツール
 - option+S パラメータの簡素化



個別の音符については、画面下部のパラメータ欄で曲線グラフを描いて値を変化させることができます。

画面下部に[パラメータ]パネルがない場合は右端中央の  から開きます。3つまでパネルを開くことができます。パネルを閉じるには、パネルの右上の×から。

ダブルクリックで点を入力、点の移動

ペンで描いて入力

直線: S字: スプライン曲線で描く

縦軸を拡大

描くパラメータ

入れ替え

薄く表示するパラメータ



・ピッチバンド

ピッチ(≒音程)を調整することができます。

詳しくはピッチ操作(パラメータ編)を参照 +300 セント←→-300 セント. 範囲は×2, ×4 できます。

ノートに掛けているビブラートを0~2 倍の範囲で増幅することができます。

・ビブラートエンベロープ

・ラウドネス

歌声の音量を連続的に変化させることができます。 +12dB←→-12dB 下限を×2, -∞ できます。

・テンション

声質のパワーを変化させることができます。

張り詰める←→ゆったり

・プレス

歌声の息の量を調整することができます。

ささやき←→ハキハキ

・有声/無声音

歌声から、息の成分だけを残すことができます。

有声音←→無声音

・ジェンダー

歌声の声質を男声寄り/女声寄りに変化させることができます。

男声←→女声

[X2],[X4] の部分をクリックすることで、一部のパラメータは操作範囲を拡大することができます

参照 [https://synthesizer-v.fandom.com/ja/wiki/ピッチ操作\(パラメータ編\)](https://synthesizer-v.fandom.com/ja/wiki/ピッチ操作(パラメータ編))

歌詞の一括入力について

先頭の音符を選択してから、メニューの[修正]→[歌詞入力]を開いて下記を入力します。(半角のスペースで区切ってあります。)

しずむよーにとけてゆくよーにふたりだけのそらがひろがるよるに

上記をPDF からコピーすると文字間のスペースが消えてしまいます。その時は 1文字ずつ区切る をチェックすることによって"ある程度"対応できます。

発音記号について

音符の上に表示される発音記号はダブルクリックによって直接書き換えることができます。

発音記号の一覧は、 <https://synthesizer-v.fandom.com/ja/wiki/発音記号一覧>

Web Sunthesizer V の試用 Web サイトもあります (Google Chrome 用) <https://synthesizerv.com/web/ja/index.html>

次ページに概要

Web 上で動作するボーカルシンセ入門

Synthesizer V 上海出身で東京を拠点に活躍中の Kanru Hua さん 2 才が開発

<https://www.dtmstation.com/archives/28005.html>

「赤とんぼ」の冒頭がサンプルとして入力されています。

- ピアノロール画面で、緑色の音符を動かして音程を変えることができます。
- 緑色音符の左右の端をドラッグして長さを変えることができます。（注意：同じ時刻に2つの音が重なると鳴らなくなります。）音符同士は、縦方向の時刻が接している位置にあると、音がつながるようになります。
- ダブルクリックで新たに音符を入力できます。
- 歌詞部分をダブルクリックして歌詞を変更できます。（漢字は不可）
- 一つの音符に2文字以上を入力できます。発音位置は、音符の長さに応じて均等配分されます。
- 下部の EDIT Pitch Deviation を切り替えると、Loudness(音量)やGender で声質などを変更することができます。図中をダブルクリックすると点が入力されて曲線が描かれます。点は移動できます。
- 試用サイトなので保存ができません。

長さの変更

重ねない
接した位置に

変化させることができる
パラメータ

Pitch Deviation	音程の変化
Vibrato Envelope	ビブラート
Loudness	音量
Tension	テンション
Breathiness	息継ぎ
Voicing	発声
✓ Gender	声質(男女)

パラメータ値の曲線による設定

紹介記事 DTM ステーション 2020 年 12 月 25 日

AI 歌声合成に対応した Synthesizer V AI がいよいよリリース。既存ユーザーは無料アップグレード可能。併せて AHS が各種新情報を一挙公開

<https://www.dtmstation.com/archives/33358.html>